

# 「マリンビジョン女性交流会議」の開催について



北海道開発局 農業水産部 水産課

令和7年11月4日、令和7年度マリンビジョン女性交流会議が札幌市での意見交換および広尾町での現地調査の二部構成で開催されました。会議には片石温美委員長をはじめ8名の女性委員が参加し、WEB参加を含め各地域の女性部が活動状況を共有しました。

## 【1日目：講演(ピロロツーリズム推進協議会)】

今年度のテーマは「他分野と連携した漁村地域の発展・振興に向けた女性の関わり」で、広尾町の魅力発信に取り組むピロロツーリズム推進協議会の代表・菊地亜希氏を講師にお招きし、副代表の保志弘一氏にはWEBでご参加いただき、広尾町における他分野連携・協働の取り組みについてご講演いただきました。

菊地代表からは、地域の人口減少を目の当たりにして広尾町と一次産業に活気を取り戻したいとの思いから協議会を設立した経緯、酪農家・漁師・デザイナーなど多様なメンバーとともに地域資源を生かした商品開発を行っていること、放牧地を望むカフェを拠点とした酪農体験など体験観光の展開についてご講演いただきました。

保志副代表からは、漁業衰退への危機感から協議会へ参画した経緯や、コンブの端材を活用した高付加価値商品「星屑昆布」などの商品開発の取り組みについてご紹介いただきました。

## 【意見交換の主な内容】

各地域の女性部からは、食育活動、地域イベント参加、清掃活動、漁業体験の受け入れなど、地域の実情に応じた取り組みが報告されました。また、他分野と連携した地域づくりに関して、一次産業間の共通課題、外部人材との連携、地域資源の価値向上の重要性について活発な議論が行われました。



## 【2日目：現地調査(菊地ファームカフェ・昆布小屋)】

他分野(水産業・農業等)と連携するピロロツーリズム推進協議会を対象に現地調査を行いました。

菊地代表が経営する広尾町の「菊地ファームカフェ」で昼食をとり、その後、同協議会で猟師の中村麻矢氏より、狩猟免許取得をきっかけに北海道へ移住した経緯、猟師としての食のツアーの提供や地域資源の価値向上の取り組みについてご講演いただきました。

その後、菊地氏が経営する牧場の現地調査を実施し、保志氏が運営する「昆布小屋」を訪問して現地調査を終了しました。

## 【おわりに】

本会議および現地調査を通じ、地域の担い手である女性の視点から、漁村地域の発展に必要な連携や課題が共有されました。特に、他分野との協働や地域資源の活用は、今後の地域づくりにおいて重要なポイントとなります。

本会議の開催にあたり、ご講演いただきましたピロロツーリズム推進協議会の皆様に対して、この場をお借りしてお礼申し上げます。



代表 菊地 亜希氏(右)  
副代表 保志 弘一氏(左)  
同会員 中村 麻矢氏(中)



「星屑昆布」と「うずまき昆布」